

家守ネット(愛知県名古屋市中)

“近所のプロ”が住まいの安心を生み出す

新しい居住スタイルの現場から



大正時代に建てられた古民家の久米邸。一昨年の「せともの祭り」の日に瀬戸市の生活文化発信基地として生まれ変わった。蔵の店には陶磁器や和紙クラフトのお店が入り、瀬戸市の名所になりつつある

“地球環境にも優しい住まいの地産地消”

悪質リフォーム業者による被害は後を絶たない。しかしその一方で、高度成長期に立てられ、リフォームあるいはリニューアルの時期に達している住まいは多数あり、生活者にとってそうした家のメンテナンスは重要な課題の一つになっている。

その問題を解消しようとする「近所のプロ」が家を守るネットワークを提案し、広めようとしているのが「家守ネット」だ。発起人で一級建築士の矢野睦巳さんは、今は、遠くの建築士が設計し、遠くの工務店が家を建てることは普通です。しかし遠いと、ちょっとした修理などがあっても頼みにくくなります。そこで、その近くに住んでいる、一〇年以上実務経験がある地域の建築士や工務店などが住まいの点検や補修方法を検討し、必要に応じて業者の手配を行えば、お客さまは気軽に頼めますし、プロは仕事にもなる。お互いにメリットがあると考えたわけです」と説明する。経験豊富な建築家なら、他



家の守り神である「ヤモリ」が登場する家守ネットのHP



家守ネットのステッカー。これを見た悪質リフォーム業者の大半は、そのまま退散するという

ナビゲーター

矢野睦巳(「家守ネット」発起人)

Mutsumi Yano

内山敏和(同事務局)

Toshikazu Uchiyama



「屋根はプロにまかせないと大変なことになります」と矢野さんがいうように、久米邸では、前に誤った修理をしたことから屋根から雨漏りがするようになっていたが、専門家と組んで的確な修理を行った

の人が施工した建物でも問題はない。「信頼ある建築関係者をネットワークで結んで、長年の経験から得た専門知識、建材・施工者・施工技術等の建築情報を交換することで、各会員が「ユーザー」に適切な補修工事を提供することができます」。

また、「実際に管理をする家には、『建築士が保守管理をしています』と書かれたステッカーを張ることで、建築のフログが関わっていることが分かり、悪質リフォーム会社の営業マンはその家に手を出せなくなります」と事務局である(株)アート企画の内山敏和社長が言うように、悪質なリフォーム業者は、フログが携わっていることを知ると、だましくいことから、その家は避けるようになる。

さらに、「車での移動距離が減るので二酸化炭素の排出を削減でき、温暖化防止の役割を果たせます。これはヨーロッパの『パワビオロキー』(の考え方にも合っています) (矢野さん)。身近なところで住まいのメンテナンスを行うことで無駄な物や人の移動を無くす。まさに住まいの「地産地消」を生み出す「家守ネット」。新しい住まい方をサポートするシステムとして注目する価値は十分にあるだろう。

(文責・CEL編集室)
 () 建築生物学の精神の一つで、建設の各工程に必要な輸送エネルギーをパワビオロキー指数として計算に加え、自然環境にどれだけ貢献しているのかを具体的な数値で説明する手法のこと。

家 守 ネット

【連絡先】

事務局

本部：アート企画

〒463-0037 愛知県名古屋市守山区天子田 1-1922

Tel.052-775-0177 Fax.052-775-0368

企画管理：矢野設計室(サイト管理者)

〒489-0916 愛知県瀬戸市平町 3-51

Tel.0561-21-2135 Fax.0561-21-2187

URL <http://yamori.net/> (携帯) <http://yamori.net/k/>



今回ナビゲーターを務めてくださった内山敏和さん(左)と矢野睦巳さん



事務局が置かれている、名古屋市守山区にある(株)アート企画